

総務教育常任委員会資料

(令和4年6月17日)

【 件 名 】

- ・ 美術品の購入について (博物館) …… 2
- ・ ティラノサウルス展の連動イベント開催における鳥取市との連携について (博物館) …… 13

教 育 委 員 会

美術品の購入について

令和4年6月17日
博 物 館

鳥取県美術資料収集評価委員会を開催し、美術品取得基金を活用して購入する美術資料の候補作品(32件)を決定しましたので、下記のとおり報告します。

記

1 鳥取県美術資料収集評価委員会

(1)日時 令和4年3月24日(木)午後1時30分から午後5時30分まで

(2)場所 博物館 第3特別展示室

(3)概要 各委員に候補作品の収集の可否について協議いただき、2のとおり購入候補作品を決定した。

2 購入候補作品

NO	分野	作家名	作品名	購入理由	制作年	材質 技法 (真数)	寸法 H×W×D	購入予 定価格 (千円)
1	近世 絵画	しまだ げんたん 島田 元旦 1778年 ～ 1840年	ほうらいさんのず 蓬萊山之図	【鳥取県に關係した近世以前の美術作品】 ◆狩野探幽が描いた《飛鶴図》などをもとに描いたと思われる大作。 ◆古い時代の絵から学びとろうとする姿勢や、鳥取藩の中にあった中国絵画などからの影響を示すという点でも貴重な作品。	江戸 後期	絹本・著色 (一幅)	160.4 × 84.9 cm	2,750
2	近世 絵画	かたやま ようこく 片山 楊谷 1760年 ～ 1801年	だんとくにねこず 檀特に猫図	【鳥取県に關係した近世以前の美術作品】 ◆楊谷の《紫陽花に猫図》と共通する構成でありながら、熱帯の植物である檀特を配して異国情緒を想起させる点で楊谷らしい作品。 ◆若描きであるが、毛描きの表現や各モチーフの描き込みに十分な力量が発揮された秀作。	天明 2 (1782) 年	絹本・著色 (一幅)	97.0 × 38.1 cm	1,540
3			もうこず 猛虎図	【鳥取県に關係した近世以前の美術作品】 ◆緻密な毛描きの描写と虎の力強さを存分に伝える大胆な構図であり、虎を主題とした楊谷の作品の中でも代表作の一つと目される大作。 ◆昭和54年に鳥取県指定文化財に指定されており、当館での収集に値する。	江戸 中期 ～ 後期	絹本・著色 (三幅)	119.3 × 48.5 cm	5,000
4	近世 絵画	ねもと ゆうが 根本 幽巖 1824年 ～ 1866年	よじょうれついず 予讓裂衣図	【鳥取県に關係した近世以前の美術作品】 ◆幽巖の作品の中でも珍しい画題の優品。 ◆幽巖の作品が人々にどのように受け入れられたかを考察する上で重要な資料となる作品。	江戸 後期	絹本・著色 (一幅)	57.2 × 80.5 cm	1,000
5	近世 絵画	ねもと せつが 根本 雪巖 1828年 ～ 1901年	こうし しょうちくばいず 高士 松竹梅図	【鳥取県に關係した近世以前の美術作品】 ◆師匠である幽巖の模写を元に、注文主や一般市民の需要に応えるような形で独自のアレンジを加えて描かれた作品。 ◆雪巖の現存作品は数が少なく貴重。	江戸 治後期	絹本・著色 (一幅)	103.2 × 38.9 cm	800
6	近代 日本 画	こばやかかわ しゅうせい 小早川 秋聲 1885年 ～ 1974年	おいわけものがたり 追分物語	【鳥取県にゆかりのある近代作家の美術作品】 ◆追分節の起源となった神威岬の伝説を主題とした、小早川の代表作とも言える重要な作品。 ◆1929年の第30回早苗会展出品作であり、作家研究の上でも必要。	大正 後期	絹本・著色 (六曲 一隻)	177.5 × 361.8 cm	4,000

NO	分野	作家名	作品名	購入理由	制作年	材質技法 (員数)	寸法 H×W×D	購入予定価格 (千円)
7	近代日本画	こばやかかわ しゅうせい 小早川 秋聲 1885年 ～ 1974年	ごこく 護国	【鳥取県にゆかりのある近代作家の美術作品】 ◆第15回帝展出品作として重要な作品。 ◆画業初期より描いていた露営の様子を主題とした作品の中でも最大規模を誇る大作で、重要な作品。	1934年	絹本・著色 (一面)	172.0 × 104.5 cm	3,500
8			むしのね 虫の音	【鳥取県にゆかりのある近代作家の美術作品】 ◆第2回新文展の出品作として重要な作品。 ◆全国巡回した「小早川展」の調査で初めて現存が確認された作品。 ◆従軍期には兵士の寝顔に関するエッセイも残しており、本作は秋聲の戦争画に対する一傾向を示す作品としても大変貴重。	1938年	紙本・著色 (一面)	149.5 × 206.0 cm	3,500
9			ばんそうじょう かそうえんい 万相有情 歌僧圓位	【鳥取県にゆかりのある近代作家の美術作品】 ◆晩年の西行の姿を主題とし、第8回帝展に出品された重要な作品。 ◆秋聲の欧米旅行後の、大正後期から昭和初期にかけて装飾的傾向を示していた時期の大作として重要。	1927年 (1962年補筆)	(二曲一隻) 絹本・著色	206.0 × 222.7 cm	4,000
10	近代洋画	まえた かんじ 前田 寛治 1896年 ～ 1930年	でんえんふうけい 田園風景	【鳥取県にゆかりのある近代作家の美術作品】 ◆砂丘社時代に、ゴッホの影響を強く感じさせる点描技法で風景画や人物画を多く描いていた時期の、希少性の高い作品。 ◆当館がまだ所蔵していない、画業初期の特徴的な厚塗りの点描による純然たる風景画。 ◆前田コレクションに一層の厚みを与える意味で収集が必要。	1922年 以前 (1920～ 1922年)		46.0 × 61.0 cm	5,500
11	近代洋画	なかやま たかし 中山 巍 1893年 ～ 1978年	ふうけい 風景	【郷土作家とつながりをもつ国内外の作家の優れた美術作品】 ●岡山県出身で前田寛治らと親交を深め、1930年協会などで一緒に活動した画家。 ◆滞欧期に制作された作品で、画業の中でも珍しい風景画であり、保存状態も良好。 ◆同時期に中山が影響を受けたヴラマンクの作風が強く認められる、中山の代表作の一つと言える作品。	不明	油彩・カンヴァス	72.7 × 53.0 cm	7,150
12	近代洋画	こうだ かつた 香田 勝太 1885年 ～ 1946年	らふ 裸婦	【鳥取県にゆかりのある近代作家の美術作品】 ◆滞欧期に制作したとみられる優品。 ◆30号大の大作は珍しく、収集に値する。 ◆風景画の多い香田が残した貴重な裸婦像である点でも貴重。	不明		91.0 × 72.7 cm	2,200
13	彫刻	つじ しんどう 辻 晋堂 1910年 ～ 1981年	つめこみきょういくを うけたこども 詰込教育を受けた子供	【鳥取県にゆかりのある現代作家の美術作品】 ◆1959年から1961年頃にかけて制作された「異なる素材を寄せ集めたアッサンブラージュ風の一連の作品」のうち的一点。 ◆その希少性と、当館では未所蔵のシリーズであることから収集に値する。	1960年	ミクストメディア	69.0 × 25.0 × 18.0 cm	4,400

NO	分野	作家名	作品名	購入理由	制作年	材質 技法 (員数)	寸法 H×W×D	購入予 定価格 (千円)
14	彫刻	つじ しんどう 辻 晋堂 1910年 ～ 1981年	てんべん 轉變	【鳥取県にゆかりのある現代作家の美術作品】 ◆1960年代に数多く制作された扁平な陶彫シリーズの中でも、タイトルに抽象的な言葉が付けられた珍しい作品。 ◆同シリーズにおける作例の多様さを示す上でも必要。	1965年	陶	40.0× 61.0× 12.0 cm	3,300
15			さしてひがしやまの ぼうんのうごきをみて、 かつおうがいの りゅうずいのささやき をきく 座看東山暮 雲動且聴鴨 涯流水囁	【鳥取県にゆかりのある現代作家の美術作品】 ◆同じ題名で別の人物像(女性像・行方不明)があったことが判明しているため、夫婦の像として構成されていた可能性が推測される秀作。 ◆晩年の辻が表そうとした独特の境地を示す作品。 ◆当館が未所蔵の土色のテラコッタ作品であり、必要性は高い。	1975年	陶	44.5 × 19.0 × 31.0 cm	3,300
16	現代美術	ほりうち まさかず 堀内 正和 1911年 ～ 2001年	Exercise 7	【郷土作家とつながりをもつ国内外の作家の優れた美術作品】 ●京都府出身の彫刻家で「火の辻と水の堀内」と呼ばれ終生親交を結んだ。 ◆辻晋堂とともに京都市立芸術大学に勤務していた1950年代中盤の作品。 ◆構成要素が限定されたExerciseシリーズの中でも、典型的な作風を示す作品。 ◆辻の一連の陶彫との違いを示し、日本の抽象彫刻の広がりを示す上で重要な作品。 ◆辻に大きな影響を与えた同僚・堀内の作品はこれまで収集できておらず、コレクションに一層の厚みを与える貴重な作品。	1956年	鉄	89.5 × 60.0 × 65.0 cm	7,150
17	現代美術	よだ じゅんこ 依田 順子 1943年 ～	Untitled #P-3	【戦後の美術・文化の流れを示す優れた作品】 ●徳島県出身の画家。和紙をカラージュする独特の作品で知られ、アメリカや日本の美術館でグループ展や個展を多数開催している。 ◆和紙を用いた表現という点で、鳥取県の工芸的な伝統とも共鳴するもの。このような素材への関心は、もの派や1970年代の絵画の気風を今に伝えている作品。 ◆当館が収集してきたドロワーイングには、このような形式的な関心から制作された例が乏しく、新たな表現方法の作例として、コレクションに一層の厚みを与える貴重な作品。	1997年	アクリル、 ライスペーパー	92.0 × 100.0 cm	880
18			Untitled #P-4	◆和紙を用いた表現という点で、鳥取県の工芸的な伝統とも共鳴するもの。このような素材への関心は、もの派や1970年代の絵画の気風を今に伝えている作品。 ◆当館が収集してきたドロワーイングには、このような形式的な関心から制作された例が乏しく、新たな表現方法の作例として、コレクションに一層の厚みを与える貴重な作品。	1998年		92.0 × 100.0 cm	880
19			Untitled #P-5	◆当館が収集してきたドロワーイングには、このような形式的な関心から制作された例が乏しく、新たな表現方法の作例として、コレクションに一層の厚みを与える貴重な作品。	1998年		92.0 × 100.0 cm	880
20	現代美術	のむら ひとし 野村 仁 1945年 ～	Tardiology (遅延論)	【戦後の美術・文化の流れを示す優れた作品】 ●兵庫県出身で、辻晋堂と堀内正和に師事。国内外で国際的な美術展に参加。国内で大規模な個展も開催している。 ◆大学院の修士制作として発表した伝説的な作品《Tardiology》を、作家自身が撮影して発表した重要な写真作品。 ◆サイズ、画質ともに美術館での発表を想定した大作であり、全8点がまとまった貴重な作品。 ◆ミュージアムに收藏されるのは今回が最初となる作品。	1969年 (2022年 プリント)	発色 現象 方式 印刷 画 ラム ダブ リ ン ト	120.0 × 80.0 / 80.0 × 120.0 cm (各4点)	10,332

NO	分野	作家名	作品名	購入理由	制作年	材質技法 (真数)	寸法 H×W×D	購入予定価格 (千円)
21	現代美術	なかはし かつしげ 中ハシ 克シゲ 1955年 ～	Papa in College	【鳥取県にゆかりのある現代作家の美術作品】 ●香川県出身で、中・高を米子市で過ごす。日本の風土や精神性をテーマにした彫刻を展開。 ◆作家初期の1980年代の作品で、動物や人物をモチーフにしたブロンズ製の具象彫刻シリーズのうち、5体制作された胸像のうちの貴重な2体。 ◆初期の秀作として、また本シリーズの後に制作された本年度寄贈作品《Pine Gate》及び当館所蔵作品《ニノミヤ君》へと移行する前段階を示す重要な作品。 ◆コレクションに一層の厚みを与える貴重な作品。	1986年	ブロンズ・ブロンズ	総高 60cm	2,800
22			夏の終わり		1988年	ウブロンズ・アルミニウム	総高 80cm	3,800
23	現代美術	むらおか さぶろう 村岡 三郎 1928年 ～ 2013年	直線	【戦後の美術・文化の流れを示す優れた作品】 ●大阪府出身で、溶接等の加工技術を用いて作品を制作。日本の現代彫刻を代表する作家。 ◆昨年収蔵した《Iron Bed》(1979)以降の村岡の活動の展開を示す上で、いずれも重要な作品。 ◆4点はいずれも村岡の活動の中期(80年代半ば～90年代半ば)にあたり、その傾向の元となる思想をよく伝える秀作。 ◆《直線》は、皮膚-身体の暗喩として鉛の筒が用いられた作例。 ◆《塩の先端》と《落下する熱》は、生態エネルギーや生命を表すものとして「熱」を作品に取り込むことで、立体物が「パフォーマンスの痕跡」としての意味も持つようになったことを示す秀作。 ◆自身の「脈動」を測りながら描いた《熱原理》は、生態エネルギーの視覚化であり、後年の作品で中心的な役割を果たすようになる酸素ボンベが呼吸のメタファーとして機能している重要な作品。 ◆当館の戦後現代彫刻コレクションに一層の厚みを与える貴重な作品。	1983年	鉛、ピアノ線、バネ	5.0 × 80.0 × 5.0 cm	3,000
24			塩の先端		1985年	塩水、鋼鉄、熱	250.0 × φ6.0 cm	4,000
25			落下する熱		1992年	鉄、硫酸、ガラス瓶、熱	45.0 × φ18.0 cm	1,000
26			熱原理 (Heat Principal)		1994年	鉄、酸素ボンベ、チヨロクンベ	150.0 × φ23.0 cm (ボンベ) / 25.0 × 500.0 cm (平面)	1,500
27	現代美術	まじま たつお 真島 竜男 1970年 ～	無題 (栄光の彼方に)	【当館の企画展およびスタジオ・プログラムに参加した作家の作品】 ●東京出身で、アイデンティティの問題を作品に取り上げ、日本の近現代美術と国家・制度との関係性をテーマとする作品発表を続けている。 ◆現代アメリカを代表する映画スターであるトム・クルーズが主演した映画のアメリカ版ポスターによる作品。 ◆新たに映画が公開されるたびにポスターは追加され、俳優の引退または死去をもって完結する、現在進行形のプロジェクトとしての形をとるユニークな作品。 ◆ポスト・コロニアリズムやジェンダー理論という観点からも極めて高い批評性をもった秀作と位置づけられ、2000年代以降の日本の現代美術の一面を伝える貴重な作品。	1999 ・ 2012 ・ 2015 ・ 2016 ・ 2021年	額装したポスター	可変	4,400

NO	分野	作家名	作品名	購入理由	制作年	材質 技法 (真数)	寸法 H×W×D	購入予 定価格 (千円)
28	現代美術	Andy Warhol (アンディ・ ウォーホル) 1928年 ～ 1987年	キャンベル スープ缶	<p>【戦後の美術・文化の流れを示す優れた作品】</p> <p>●1949年に生地ピッツバーグからニューヨークへ渡り、商業デザイナーとして活動。キャンベル・スープ缶やコカ・コーラなど大量生産された商品などを描き、資本主義社会を反映した作品で脚光を浴びる。ポップ・アートを代表する存在として世界的に著名。</p> <p>◆ウォーホルがポップ・アーティストとして名を馳せたきっかけとなった「キャンベルスープ缶」を立体作品として展開させた作品。</p> <p>◆ウォーホル作品のなかでも、このスープ缶はマリリン・モンローと並ぶ代表的かつ最も知名度の高いイメージであり、後の美術史に多大な影響を与えた名高い作品シリーズの作品。</p> <p>◆本作品は10エディションのうちの1点であり、多数流通している版画作品と比較すると大変希少性が高く、日本国内での所蔵もほとんどない貴重な作品。</p> <p>◆美術館の開館に向け、現代美術コレクションの核となる貴重な作品。</p>	1964～ 1966年	アルミニウム、シルクスクリーン、インク	10.1 × 6.8 × 6.8 cm	33,900
29	写真	やまざわ えいこ 山沢 栄子 1899年 ～ 1995年	Consuelo Kanega	<p>【戦後の美術・文化の流れを示す優れた作品】</p> <p>●大阪府出身で、カリフォルニア・スクール・オブ・ファインアーツで油彩画を学ぶ傍ら、写真家コンスエロ・カナガの助手として写真を覚え商業写真家となる。日本における最初期の女性写真家の一人。</p> <p>◆No. 29は、師匠であるカネガに戦後ニューヨークで再会した際に撮影されたポートレートで、抽象的な表現以前の山沢の作風を知る上で重要な作品。</p> <p>◆Nos. 30～32は、1960年代以降に山沢が取り組んだ抽象的な形態のモチーフを組み合わせさせて撮影した「What I am doing」のシリーズに属し、数少ないヴィンテージとして貴重な作品。</p> <p>◆当館の収蔵作品のうち、女性による写真作品は僅か一点のみであり、コレクションに一層の厚みを与える貴重な作品。</p> <p>◆既収蔵作家の塩谷定好と山沢は同年に生まれているため、同時代の表現や活動としてコレクションの活用が期待できる有用性の高い作品。</p> <p>◆広告写真という観点からは、戦後の商業写真界で活躍した米子の杵島隆とも比較でき、今後研究が進むことも期待できる作品。</p>	1955年 撮影 1955～ 1987年 プリント	ゼラチン・シルバー・プリント	24.6× 27.6cm (プリント 寸) ／ 24.2× 27.1cm (イメージ 寸)	1,650
30			What I am doing No. 62	◆Nos. 30～32は、1960年代以降に山沢が取り組んだ抽象的な形態のモチーフを組み合わせさせて撮影した「What I am doing」のシリーズに属し、数少ないヴィンテージとして貴重な作品。 <p>◆当館の収蔵作品のうち、女性による写真作品は僅か一点のみであり、コレクションに一層の厚みを与える貴重な作品。</p> <p>◆既収蔵作家の塩谷定好と山沢は同年に生まれているため、同時代の表現や活動としてコレクションの活用が期待できる有用性の高い作品。</p> <p>◆広告写真という観点からは、戦後の商業写真界で活躍した米子の杵島隆とも比較でき、今後研究が進むことも期待できる作品。</p>	1986年	チバクローム・プリント	81.0 × 95.9 cm	3,025
31			What I am doing No. 70	◆既収蔵作家の塩谷定好と山沢は同年に生まれているため、同時代の表現や活動としてコレクションの活用が期待できる有用性の高い作品。 <p>◆広告写真という観点からは、戦後の商業写真界で活躍した米子の杵島隆とも比較でき、今後研究が進むことも期待できる作品。</p>	1986年	チバクローム・プリント	112.0 × 90.0 cm	3,300
32			Bricks	◆既収蔵作家の塩谷定好と山沢は同年に生まれているため、同時代の表現や活動としてコレクションの活用が期待できる有用性の高い作品。 <p>◆広告写真という観点からは、戦後の商業写真界で活躍した米子の杵島隆とも比較でき、今後研究が進むことも期待できる作品。</p>	1987年 撮影 1989年 プリント	チバクローム・プリント	28.0 × 35.1 cm	1,650
計 32件 (絵画12件、彫刻3件、写真4件、現代美術13件)							136,087千円	

3 参考

(1) 近年の購入状況

年度	購入金額 (千円)	内 訳	
令和3年度	18,900	8 件	絵画2件、工芸1件、現代美術5件
令和2年度	22,327	141 点	絵画2点、彫刻4点、写真135点
令和元年度	15,496	4 点	絵画4点
平成30年度	30,285	12 点	絵画7点、彫刻5点
平成29年度	0	なし	ただし、受贈した興国寺書院襖絵の修復費を平成29年度と平成30年度に基金より支出
平成28年度	28,890	7 点	絵画4点、彫刻3点

(2) 収集方針

県立博物館ではこれまで、『鳥取県の美術』を基本方針に優れた美術作品を収集してきたが、令和7年春（令和6年度中）に県立美術館が新設されることに伴い、今後は、県民にさらに多様で優れた美術作品に触れていただく機会を提供するために、新しい収集方針として『国内外の優れた美術』および『同時代の美術の動向を示す作品』を設定し、鳥取県にゆかりのある作品のみならず、広く国内外の優れた美術作品を収集することとした。

■ 鳥取県の美術 → 既存方針

- ・ 鳥取県に関係した近世以前の美術作品
- ・ 鳥取県にゆかりのある近代作家の美術作品
- ・ 鳥取県にゆかりのある現代作家の美術作品
- ・ 鳥取県の自然や風物などを題材にした美術作品
- ・ 郷土作家とつながりをもつ国内外の作家の優れた美術作品

■ 国内外の優れた美術 → 新方針

- ・ 江戸絵画の多様性を示す優れた作品
- ・ 近代（明治～戦前）における各分野の参照点となる優れた作品
- ・ 戦後の美術・文化の流れを示す優れた作品
- ・ 館の内外に半恒久的に設置する作品（現存作家への委託制作作品）

■ 同時代の美術の動向を示す作品 → 新方針

- ・ 過去20年間でめざましい活動を行った作家の作品
- ・ 当館の企画展およびスタジオ・プログラムに参加した作家の作品
- ・ 国内外の公立美術館での発表または重要な展覧会に参加した作家の作品

(3) 今後のスケジュール

決定した美術作品（32件）について、常任委員会報告後、購入手続きを行うとともに、令和5年2月議会で一般会計からの美術品購入基金への繰り戻しを行う。

令和4年度購入候補作品



1 島田 元旦
《蓬莱山之図》



2 片山 楊谷
《檀特に猫図》



3 片山 楊谷《猛虎図》



4 根本 幽峨《予讓裂衣図》



5 根本 雪峨《高士松竹梅図》



6 小早川 秋聲《追分物語》



7
小早川 秋聲
《護国》



8 小早川 秋聲《虫の音》



9 小早川 秋聲《万相有情 歌僧圓位》



10 前田 寛治《田園風景》



11 中山 巍《風景》



12 香田 勝太《裸婦》



1 3 辻 晉堂
《詰込教育を受けた子供》



1 4 辻 晉堂《轉變》



1 5 辻 晉堂
《座看東山暮雲動且聽鴨涯流水囁》



1 6 堀内 正和《Exercise 7》



1 7 依田 順子《Untitled #P-3》



1 8 依田 順子《Untitled #P-4》



2 0 野村 仁《Tardiology》



1 9 依田 順子《Untitled #P-5》



2 1 中ハシクシゲ 《Papa in College》



2 2 中ハシクシゲ 《夏の終わり》



2 3 村岡 三郎 《直線》



2 5 村岡 三郎 《落下する熱》



2 4 村岡 三郎 《塩の先端》



2 6 村岡 三郎
《熱原理 (Heat Principal) 》



27 眞島 竜男《無題(“栄光の彼方に”)》



28 アンディ・ウォーホル
《キャンベルスープ缶》



29 山沢 栄子《Consuelo Kanega》



30 山沢 栄子《What I am doing No. 62》



31 山沢 栄子《What I am doing No. 70》



32 山沢 栄子《Bricks》

ティラノサウルス展の連動イベント開催における鳥取市との連携について

令和4年6月17日
博 物 館

鳥取県立博物館を会場に開催される企画展「ティラノサウルス展～T. rex 驚異の肉食恐竜～」(会期：6月18日(土)～8月28日(日))の連動イベントとして、全国的に話題になっているティラノサウルスの着ぐるみを着て行うイベントを鳥取市と連携して実施します。

1 イベント運営体制

- (1) 主 催 ティラノ展実行委員会(鳥取県立博物館、日本海テレビジョン放送株式会社)
※日本ティラノサウルス保存会へ開催業務を委託
- (2) 共 催 鳥取市、鳥取市教育委員会、公益財団法人鳥取市文化財団 仁風閣
※鳥取市には、会場(久松公園)の無償提供、近隣の市施設を関係者の駐車場として提供していただきます。

2 イベント内容

(1) ティラノサウルス展を見るティラノサウルス展

- ア 内 容 ティラノサウルスの着ぐるみを着用した参加者と、一般の参加者(人間)と一緒にティラノサウルス展を観覧し、その様子をSNS等で発信する。
- イ 日 時 令和4年6月20日(月・休館日) 午前10時から午後4時まで(3部制)
- ウ 場 所 鳥取県立博物館第1・第2・第3展示室(ティラノ展会場)、常設展示室
- エ その他 参加者は応募者限定(予定：各部ティラノサウルス20体、人間30人)
常設展示室も観覧(ダイオウイカに驚くティラノ、古民家でくつろぐティラノ)

(2) 目指せ県博公認T-REX！ティラノサウルスコンテスト

- ア 内 容 ティラノサウルスの着ぐるみを着て、一番ティラノサウルスらしい動きができる人を決める。(雨天中止)
- イ 日 時 令和4年7月16日(土) 午後2時から午後5時まで
- ウ 場 所 久松公園
- エ その他 出場者は応募による(30組：1体でもチームでも可)、見学者は定員なし
審査員は鳥取県立博物館学芸員3名(古生物学、動物学、民俗学)
軽食ブースあり、ファンラン(徒競走)あり

(3) T-REX×鳥取城跡・仁風閣フォトスタンプラリー (コンテストと同時開催)

ティラノサウルス姿、又はティラノサウルスと一緒に鳥取城跡及び仁風閣の数か所で写真を撮ってもらい、ステッカーをプレゼントする。SNSへの投稿を促し、鳥取県のPRも行う。(雨天中止)



ティラノサウルス展を見るティラノサウルス展 (公式Twitter より)